

幌向24町内会独居老人を救う

コロナ対策で臨時市議会 飲食店への支援、10万円など

国の第3次補正予算を受けての市のコロナ対策関係の事業が確定し、20日、臨時市議会が開催されました。

主な事業は次のとおりです。

- ◆タクシー等の宅配支援一補助単価1200円で月に53件を見込んでいます。
◆市内バス路線の利用の落ち込みへの支援一2千万円
◆65歳以上や障がい者の外出支援一ワクチン接種や外出のためのタクシー代の支援一タクシー基本料2往復分。2万人以上見込み

親以外にも所得により支給予定。所得金額等は国で検討中
◆市立病院の感染症棟職員 の定期PCR検査実施一25人、週1回実施



介護従事者アンケート調査結果
昨年と比べた収入 「増えた」3割、「仕事の割に賃金が低い」4割
調査結果をみると、職業を選んだ理由は複...

「りすた」活用 アイデア求む

補助金支出 利用呼びかけ
夕張市教委 今夏市民と協働事業
「りすた」は、市内の各町内会や市民団体、NPO等からアイデアを募集し、活用する...

ぼかぼか サクラ植樹 岩見沢

南空知全5地点で今季最高気温
【岩見沢】市民有志による「ぼかぼか」サクラ植樹活動が、22日、自宅で倒れた状態の独居高齢者(86)を往良が連携して救助...

幌向第24町内会に感謝状 独居高齢者の命救う

不審に気づき、住民連携
【岩見沢】岩見沢警察署の末水国弘署長は、22日、自宅で倒れた状態の独居高齢者(86)を往良が連携して救助...

「あいつ(たの)の声をけを日ごろから実践し、顔を見える活動を続けてきたのが幸いした」と振り返り笑顔。発見した住民らも「万が一を考え、とっさに行動した。命に別条がなくてよかった」と話していた。

ホンダ、ガソリン車ゼロ 40年目標 日本企業で初
ホンダは23日、世界で販売する新車を2040年に全電気自動車(EV)と燃料電池車(FCEV)にする目標を発表した。ガソリン車の撤廃を掲げたのは日本の自動車メーカーでは初めてで、世界の主要メーカーでも先進的な取り組みとなる。国際的な脱炭素の流れを受け、環境対応とモーターを併用して走るハイブリッド車(HV)を含めた電動化を進める国内他社と一線を画し、明確に「脱ガソリン」へかじを切る。

札幌定期演奏会
今日・明日開催
hitaru 札幌文化芸術振興財団